



2022年10月4日

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

**第一線で活躍する建築家が選ぶ、優れた建築を生み出すことに貢献しうる建材・設備製品
「みらいのたね賞」9 製品と「ゲスト選考賞」1 製品を決定！
住宅・建築関連専門展示会「Japan Home & Building Show 2022」で表彰・展示**

日本最大級の住宅・建築関連専門展示会「Japan Home & Building Show 2022」(2022年10月26日～28日、東京ビッグサイト)を主催する一般社団法人日本能率協会(JMA、会長:中村正己)は、同展の開催を前に、優れた建築を生み出すことに貢献しうる優れた製品、未来への布石となる製品に贈られる「みらいのたね賞」9製品と「ゲスト選考賞」1製品を決定しました。

同賞は「Japan Home & Building Show」の公式アワードで、建築分野で活躍する選考員が、毎年、同展の出展製品を対象に、テーマに基づき優れた建材・設備製品を選出しています。

6回目となる今年は、ゲスト選考員として宮崎 浩氏(株式会社プランツアソシエイツ 代表)を迎え、「プロダクトの一般解と特殊解」をテーマに、「Japan Home & Building Show 2022」の出展製品約180点の中から「みらいのたね賞」9製品を決定しました。「ゲスト選考賞」はゲスト選考員が目指す1製品を決定しました。

今回受賞した製品は、「Japan Home & Building Show 2022」の各受賞企業ブースに展示されます。

10月27日には、本賞の表彰式ならびに選考員による選評やトークセッションを行う「みらいのたね賞シンポジウム」を実施。選考員らとともに受賞企業のブースを巡る「みらいのたね賞ツアー」も毎日開催します。また、会期前の10月6日には、zoom ウェビナーを使用し、「みらいのたね賞」選考員と、今年度の選考を終えてのオンライントークイベントを行います。

実施スケジュールなどの詳細は、「Japan Home & Building Show 2022」公式サイトにてご案内いたします(<https://www.jma.or.jp/homeshow/>)。

■「みらいのたね賞」受賞製品(順不同) ※3～7 ページで製品詳細、選評を紹介

製品名	会社・団体名	ブース番号
家具用コンセント	株式会社石黒製作所	E4-H05
BOIS-Art「縫える木 シード、ロールカーテン、壁紙」	株式会社谷口(公益社団法人石川県木材産業振興協会)	E4-V13
エフネン耐火集成材・CLT	株式会社中東(公益社団法人石川県木材産業振興協会)	E4-V13
グランドグリッド(tm)	株式会社グリーンフィールド	E6-A08
漆 内装材	天龍木材株式会社(静岡県木材協同組合連合会)	E5-V01
おうちまるごと制震シェルター	なかやしき株式会社	E4-K16
家具設置型ワイヤレス給電ユニット	株式会社 ビー・アンド・プラス	E5-Q12
444+H	株式会社よし与公房	E4-T16
NIGHT BOOK	株式会社ワイ・エス・エム(JCD 日本商環境デザイン協会)	E6-H08

■「ゲスト選考賞」受賞製品

HaymesPaint/ハイムスペイント	株式会社スタジオアナグラム	みらいのたねブース内
----------------------	---------------	------------

【展示会に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター 小畑、石郷岡、堀内
TEL:03-3434-1988 E-mail:jhbs@jma.or.jp

「みらいのたね賞」概要

「みらいのたね賞」は、建築家が選ぶ、優れた建築を生み出すことに貢献する優れた製品、未来への布石となる製品に贈られる賞です。一般社団法人 HEAD が開催してきた「HEAD ベストセレクション賞」を継承して、一般社団法人日本能率協会が「Japan Home & Building Show」の公式アワードとして 2017 年にスタートさせ、今年で 6 回目を迎えます。

毎年ゲスト選考員を迎え、出展製品の中からテーマに基づき、約 10 製品を選定、表彰しています。



「みらいのたね賞」ロゴマーク

1. 選考員

ゲスト選考員



株式会社プランツアソシエイツ
代表

みやざき ひろし
宮崎 浩 氏

1952 年 福岡県生まれ。1977 年 早稲田大学大学院修士課程修了。1979～89 年 楨総合計画事務所勤務。1989 年 株式会社プランツアソシエイツ設立。主な建築作品として、中原中也記念館(1994 年 日本建築家協会新人賞・2022 年 JIA25 年賞)、NSP ビル(2000 年 日本建築学会作品選奨選定)、高橋節郎記念美術館(2004 年 第 36 回中部建築賞・2005 年 第 46 回 BCS 賞 等)、在日インド大使館 / Tokyo Construction Project、新山口駅北口駅前広場「0 番線」(2019 年 第 60 回 BCS 賞・第 11 回 JIA 中国建築大賞)、テラス沼田(2020 年 BELCA 賞)、長野県立美術館(2021 年 第 34 回長野市景観賞・第 53 回中部建築賞・第 31 回 AACA 賞・2022 年 JIA 日本建築大賞)がある。

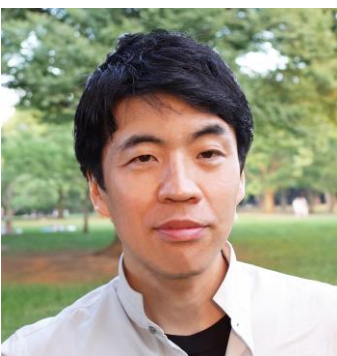
選考員



一般社団法人 HEAD 研究会
特別顧問

まつなが やすみつ
松永 安光 氏

1941 年東京生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。ハーバード大学デザイン大学院修了。日本建築学会作品賞、同業績賞、同作品選奨、日本建築家協会新人賞、同環境建築賞、木材活用コンクール農林水産大臣賞(重賞)、都市住宅学会業績賞、日本ファシリティマネジメント協会大賞、BCS 賞。1997 年より 2007 年まで鹿児島大学工学部教授。東京芸術大学客員教授、中国同済大学客員教授などを歴任。近代建築研究所主宰。一般社団法人 HEAD 研究会 特別顧問。



山本想太郎設計アトリエ
代表

やまもと そうたろう
山本 想太郎 氏

1966 年東京生まれ。1991 年早稲田大学大学院修了。1991～2003 年坂倉建築研究所勤務。2004 年山本想太郎設計アトリエ設立。現在、東洋大学・工学院大学・芝浦工業大学 非常勤講師。日本建築家協会デザイン部会長。HEAD 研究会理事。主な建築作品として、南洋堂ルーフラウンジ、日本橋大伝馬町プラザビル、来迎寺本堂・庫裏、妻有田中文男文庫、越後妻有清津倉庫美術館など。主な著書・訳書として、『現代住居コンセプト』(共著、INAX 出版)、『建築家を知る / 建築家になる』(王国社)、『イラスト解剖図鑑 世界の遺跡と名建築』(監修・訳)など。主な受賞歴として、オーストラリア建築家協会賞、AACA 賞、東京建築賞など。

2. 選考方法

みらいのたね賞は「地球目線で考える受け継がれるものとは何か」をテーマに、「Japan Home & Building Show 2022」出展製品約 180 点の中から、1 次選考で選考員が 25 点に絞り、ゲスト選考員を加えた最終選考で 9 点を決定しました。ゲスト選考賞はゲスト選考員の注目する 1 製品を決定しました。

3. 「みらいのたね賞」受賞製品（※順不同）

<p>「家具用コンセント」 株式会社石黒製作所(ブース番号:E4-H05)</p> <p>デザインが良く、豊富なカラーバリエーションで安価、いろいろな仕様を選べるコンセントが欲しい… お客様からのご要望と課題から、石黒製作所ではデザインを重視し、用途に合わせて選択できるコンセント製品を開発しました。 豊富なラインナップで、あらゆるシチュエーションに対応します。後付可能で施工も簡単な製品もご用意しております。</p> 	<p>【選評】 ウイルス禍のなかで一気に普及したテレワークのみならず、生活のさまざまな局面でモバイルIT 機器が使用されるようになった。その際の基本的な空間環境として、給電をはじめとした有線接続端子も、あらゆる場所に求められるものとなってきている。ところがいわゆる「家具用コンセント」製品はまだまだ色、形バリエーションも少なく、ディテールが追求されるインテリアに対応しきれていない。そのような状況下でドイツ BACHMANN グループとの協力製品も含め、この洗練されたデザインのラインナップは有難い。生活空間における「設備」の存在感を肯定的に変革していくための部品として、高く評価したい。 (山本想太郎)</p>
<p>ボイスアート</p> <p>BOIS-Art 「縫える木 シェード、ロールカーテン、壁紙」 株式会社 谷口(石川県木材産業振興協会ブース内)(ブース番号:E4-V13)</p> <p>木を極限まで薄くスライスし特殊な加工を施し、割れずに柔らかく曲げられる製品を開発。開発した木のシリーズ【BOIS-Art】は、①ミシンで縫製ができ②丈夫で③サステナブル素材。木の香が広がり「癒し」の効果があります。本シートを使用したシェードやロールカーテンの他、今後、多彩な分野への使用が期待できます。摩擦・引張りの強度試験済・水濡・クリーニングテスト済・防災認定番号取得・ホルムアルデヒド等級 F☆☆☆☆</p> 	<p>【選評】 近年、印刷技術における表現力の進化には目を見張るものがあり、金属であれ、石材であれ、木材であれ、間近で見ても本物と区別のできないような印刷によるフェイク製品・建材が世の中に溢れてしまっている。 そんな中、金沢の伝統的工芸メーカー谷口は、あくまで本物の木にこだわり、紙よりも薄くスライスした木を裏打ちして、木を布のように柔らかく加工したシート状の製品を「縫える木」と名付けて開発した。折れる・縫えるという木では考えられないその特性を生かしたバッグやロールスクリーン等の製品が持つ香りや質感は、まさに「木」であり、新たな可能性を秘めた技術・製品としてその試みを高く評価したい。 (宮崎 浩)</p>

「エフネン耐火集成材・CLT」

株式会社 中東(石川県木材産業振興協会ブース内)(ブース番号:E4-V13)

今まで RC 造・鉄骨造で作られた建物を木造にするうえで欠かせない技術が耐火性能です。エフネン耐火集成材・CLT は独自の技術で 2 時間耐火試験に合格し国土交通大臣認定を取得しており、木材の質感と木目の美しさを『現し(あらわし)』で用いることが可能です。(株)中東は「ただの木材会社ではなく、他ではやらないものをやろう」という掛け声の下、これまでにない価値観を提供し持続可能な社会に貢献して参ります。



【選評】

大規模木造建築は、いま建築界でも注目の分野であり、そのためのさまざまな技術や試みが発表されているが、なかでも木質材料のみの主構造で耐火建築物をつくるということは、大きなハードルとして各所で研究されてきた。集成木材の構造部材(柱・梁・床)を、耐火性をもたせた集成材(燃え止まり層)で被覆することによって 2 時間耐火までの性能を実現したこの製品は、その達成のひとつであるといえるだろう。構造部材部分は地域産材・地域加工も可能と明示している点も、技術の一般化という観点において一歩先んじている。大規模建築において木造が「一般解」になっていくプロセスのマイルストーンとなる技術として注目したい。(山本想太郎)

「グランドグリッド(tm)」

株式会社グリーンフィールド(ブース番号:E6-A08)

グランドグリッド(tm)は米国デュポン社が開発した地盤安定を目的に開発した特殊不織布製のハニカム構造材です。グランドグリッド(tm)を駐車場、仮設道路、舗装路盤に使用すると、砂利の沈下散失の防止や路盤変形、陥没を防止し、丈夫で安全な路盤を作る事が可能です。また、グランドグリッド(tm)は傾斜面の保護にも対応可能で、斜面の土砂流出やそれに伴う斜面下の土砂の堆積を防止します。

素材にはデュポン社が開発した強靱なポリプロピレン不織布のザバーン(r)を採用しており、非常に高い強度と高い透水性能があるため、暗きょ排水層としてもご使用可能です。その特徴を活かし様々な工事に対応可能となっております。



【選評】

いわゆる砂利保護材マットは、細かく仕切られたセルに砂利を流し込むことで、沈みや移動が少なく安定した砂利敷地盤をつくるための資材であり、特に駐車場や法面など、砂利の安定性が課題となるような場所で効果を発揮する。一般に外構工事においては、コスト、施工性、耐久性などの点でバランスの良い製品が求められるが、この製品は軽さやコンパクトさ、また地面に馴染む柔軟性に優れていることで、施工の容易さと仕上がりの美しさに期待ができる。特に基材となる特殊不織布の品質感、強度・耐久性だけでなく、たとえ一部が露出して見えてしまったとしても気にならないであろうという安心感がある。やや荒っぽいものが多い外構資材のなかで、この繊細な質感は心地よい。(山本想太郎)

「漆 内装材」

天龍木材株式会社(静岡県木材協同組合連合会ブース内)(ブース番号:E5-V01)

漆塗りは日本を代表する工芸品の一つであり、漆器の産地として有名な「越前 河和田」にて、漆塗りの特徴を活かした近代的な技法によって、弊社取扱商品の「ラフウォール」に漆塗りを施しました。

「ラフウォール」は木材の表面を削る加工である「なぐり加工」を施し、立体感のある美しい仕上がりで空間を演出する商品ですが、そこに漆塗りを施すことにより、木目を活かしながらも漆特有の深みのある輝きを表現いたしました。



【選評】

天龍木材は静岡天竜川流域で 100 年以上の由緒ある木材問屋であったが、現在では海外を含めて多面的な事業を展開をしている。その中で本製品は日本古来の塗料である漆に着目し、木製品の魅力的な表情を生かした、堅牢で実に美しい製品を送り出すことに成功した。わが国固有の伝統的素材を使ってこのように画期的な発想を昇華させた本製品はみらいのたね賞の受賞に誠にふさわしい(松永安光)

「おうちまるごと制震シェルター」

なかやしき株式会社(ブース番号:E4-K16)

熊本地震では二度の強震によって倒壊する家屋が多く見られました。「耐震を超えていかななくてはいけない」と西日本工業大学古田教授が開発されたダイナミックファスナーと、最適な設置箇所を算定する揺れ幅解析ソフト、さらに工務店様向けのわかりやすい工法プログラムを合わせた商品「おうちまるごと制震シェルター」をこの春発表いたしました。日本中、世界中で、強い木造住宅によるしあわせな暮らしを目指して参ります。



【選評】

この製品は一般の戸建て住宅の筋交いに取りつけるだけで耐震・制振性能を画期的に高めることが出来る制震金物でこれは高減衰ゴムを採用したハイブリッド構造で地震エネルギーの吸収を一極集中から分散型とし、建物の隅々まで制震効果を発揮させることが出来る。本製品のアイデアは西日本工業大学デザイン学部長・古田教授の開発によるもので、その制震力のシミュレーション解析ソフトは公開されている。筋交い部をゴムで包み込むというアイデアはきわめて独創的な発想で、みらいのたね賞受賞にふさわしい。(松永安光)

「家具設置型ワイヤレス給電ユニット」

株式会社 ビー・アンド・プラス(ブース番号:E5-Q12)

家具の上や内部へ設置できる自由度の高い新感覚のワイヤレス給電ユニットです。電力を送る送電部と電力を受ける受電部が近づくことによりコードレスで電力を送る事ができます。例えば、テーブルの内部へ組み込み、テーブル上の食器を光らせたり小型家電を動かす、テーブルランナーのように敷くことで専用のワインクーラーやグラスをライトアップするなど、アイデア次第で色々なスタイリッシュな空間を演出できます。



【選評】

現在では従来のコンセントに電源を接続しなくてもワイヤレスで様々なものを点滅させることができるようなシステムが急速に発展しており、その世界の広がりは無限であるように思われる。そのような中でワイヤレス給電とワイヤレス充電を専業としているB&P社は様々な製品を意欲的に開発しており今後のさらなる成長が期待される。思いもかけないような照明器具や玩具など魅力的な製品は多くの人々に驚きを与えるであろう。このように画期的な発想はまさにみらいのたね賞の受賞にふさわしい。

(松永安光)

「444+H」

株式会社よし与工房(ブース番号:E4-T16)

1969年創業のよし与工房はロートアイアンを日本で最も早く導入し、オーダーメイドの装飾金物に取り組んでまいりました。2014年アイアンを住宅や店舗に、より気軽に取り入れて頂けるよう、レディーメイドブランド 444+H(トリプルフォーエイチ)を発表いたしました。生活空間をグレードアップするメタルアイテムをご提案しております。シンプルながらも職人の手仕事を味わえる製品をお楽しみください。



【選評】

ヨーロッパの伝統的な鍛鉄工芸であるロートアイアンを日本に導入した老舗メーカー。鉄は、錆対策として塗装仕上げせざるをえないため、素材そのものの姿を表現することが難しい材料である。熱して軟化させた鉄を手作業で成型するロートアイアンは、その作業の痕跡が表面のテクスチャーとして残されることで、「鉄」であることが表現される。それは見た目だけでなく、手で触れた際により強く感覚される。表層性、仮想性の高い現代建築の空間において、このようにモノそのものに感応できる要素は、単なる部品を超えて、建築と人との距離を近づける存在となりうるだろう。また基本的にオーダー製作でありながら価格も含めイメージが伝わりやすいカタログや、ホームページなどでの情報発信も評価したい。(山本想太郎)

「NIGHT BOOK」

株式会社ワイ・エス・エム(JCD 日本商環境デザイン協会ブース内)(ブース番号:E6-H08)

本のように引き出すだけで本の間からやさしい光が広がる LED 照明。JR 九州クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」にも採用された上質な明かりを「一冊の照明」というコンセプトに込め、まるで物語の始まりを予感させる詩的な体験をデザインしました。本棚や積み重ねた本の間に置くことで、空間を詩的に演出します。



【選評】

照明器具の光源が、電球や蛍光灯から LED に切り替わったことで、「光のデザイン」手法も大きく変化している。調光システムはもちろんのこと、色温度も自由に調整でき、また、光源が小さくなったことで、今までなかったような照明器具が数多く開発されているが、本質的な光の美しさを表現できているものはそう多くはない。ワイ・エス・エムの照明器具は、紙や金属、アクリル等と組み合わせた、デザインの完成度が高いプロダクトである。中でも、「NIGHT BOOK」と名付けられた菊判サイズの書籍と同じサイズの照明器具は、本棚から引き出すことで灯りがともるポエティックな懐かしい光の暖かさを感じる上質な製品である。

(宮崎 浩)

4.「ゲスト選考賞」受賞製品

「HaymesPaint／ハイムスペイント」

株式会社スタジオアナグラム(みらいのたねブース内))

1890 年創業のオーストラリア塗料メーカー。

化学顔料をほとんど使用しない低 VOC 水性塗料。

オーストラリアで採取された鉄、銅、アルミ、珪砂などの鉱物を配合し、紫外線への耐久性も高く、素晴らしいテクスチャーが表現できる。2016 年に PaintBack 協会設立、3600 万 kg 以上の廃塗料及び塗料缶等を回収処理している。受注後の調色により、無駄な塗料を生産しない仕組みを日本でも採用。オーストラリアにおいて、2018-2022 の 5 年連続最高品質賞を受賞(CANSTAR 賞)



【選評】

最近の建設現場では、工事の種別や規模に関わらず、廃材をきちんと分別・回収して廃棄するというルールが一般化されてきているが、設計者が素材の分別までイメージして設計することは残念ながらまだ少ない。まして、塗装材料の回収や再利用までを考えると全くないといってよいであろう。ハイムスペイントは、1400 色を越す色と、左官のような表面のテクスチャを組合せることができる自然由来の低 VOC 環境配慮型水性塗料であり、塗料としての質の高さと共に、無調色塗料を受注後に調色を行って販売するという「受発注調色販売」や余剰塗料の回収再利用といったオーストラリア本国の仕組みを日本でも継承している点を高く評価したい。

(宮崎 浩)

5. 授賞式、「みらいのたね賞シンポジウム」開催概要

- ・開催日:2022年10月27日(木) 14:00~15:30
- ・会場:東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場) 東展示棟会場内 講演会 B(東6ホール)
- ・登壇者:宮崎浩氏、松永安光氏、山本想太郎氏
- ・申込方法:https://www.jma-onlineservice.com/10all/jp/registration_seminar.phpからの事前申込制(無料)

6. 「みらいのたね賞ツアー」開催概要

- ・開催日:2022年10月26日(水)13:30~(1時間を予定)
10月27日(木)15:15~(1時間を予定)
10月28日(金)11:15~(1時間を予定)
- ・同行者:宮崎浩氏(27日のみ)、松永安光氏、山本想太郎氏
- ・申込方法:https://www.jma-onlineservice.com/10all/jp/registration_seminar.phpからの事前申込制(無料)

7. 「みらいのたね賞~未来に繋がる建材とは~ 会期前トーク!」開催概要

初開催!みらいのたね賞の会期前トークをオンラインにて開催いたします。

みらいのたね賞選考員 宮崎浩氏、松永安光氏、山本想太郎氏と一緒に、今年度の選考を終えてのトークを行います。

- ・開催日:2022年10月6日(木) 18:00~18:50
- ・場所:オンライン(zoom ウェビナーを使用します)
- ・申込方法:https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Pz0fYIORKCfGzaMuPg93wからの事前申込制(無料)

「Japan Home&Building Show 2022」開催概要

総称	Japan Home & Building Show 2022
展示会名称	●第44回 ジャパンホームショー ●第17回 ふるさと建材・家具見本市 ●第8回 店舗・商業空間デザイン展 ●第8回 トイレ・バス・キッチン空間・設備フェア ●第6回 団地・マンションリノベーション総合展 ●第8回 トイレ産業展 ●第5回 イノベーションオフィス総合展 ●第1回 解体・リノベーション総合展
主催	一般社団法人日本能率協会
共催	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会／一般社団法人リビングアメニティ協会 一般社団法人住宅生産団体連合会／公益社団法人日本建築家協会
後援	外務省／経済産業省／国土交通省／林野庁／独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) ／独立行政法人住宅金融支援機構(順不同)
協賛	関連130団体(予定)
会場	東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場) 東展示棟
会期	2022年10月26日(水)~28日(金) 10:00~17:00
出展規模	215社/478ブース(9月28日現在)
公式サイト	https://www.jma.or.jp/homeshow/
来場方法	https://www.jma-onlineservice.com/11all/jp/registration.php から事前登録をお願いします
来場予定者数	約20,000人(同時開催展含む)
同時開催	第41回 JAPANTECH 2022 第6回 アジア・ファニッシングフェア

取材申請について

取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、事前のプレス登録へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「会場案内図」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

事前登録:「取材お申込みフォーム」からご登録ください。 <https://www.jma.or.jp/press/>
『事前登録いただいた際の返信メール』のプリントアウトとお名刺 2 枚をご用意の上、
「プレス受付(登録所内)」にお越しください。

■プレス受付(プレスルーム)の開設日時、場所

開設日時	2022年10月26日(水)~10月28日(金) 9:30~17:00
場所	2か所ご用意しております。西1商談室(2) / 東1商談室(1)

当日、取材に関するお問い合わせがございましたら、プレスルームにお立ち寄りください。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材/編集/報道に関わる方が対象です。
報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております
(上記の方は、一般登録でご入場いただけます)。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

◆講演・セミナーをご取材される際のお願い

取材される場合は、対象者の了解のもと行ってください。

講演に使用された投影パワーポイント、配布資料およびテキストなどの無断転載は固くお断りいたします。

講演内容を掲載する場合は、必ず講演者に許可を得てください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■プレスルーム地図



【展示会に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター 展示会ヘルプデスク

E-mail: helpdesk@k3c.co.jp ※件名に「展示会名」を入力してください。

TEL:03-6809-1635 (受付時間 9:30 ~18:00 土・日・祝日を除く)

以上